

会員募集のご案内

日本ミャンマー協会は、今後飛躍的に発展が期待される両国関係の交流促進に民間の立場で貢献するべく、特に民間の投資促進、貿易拡大、技術協力、人材育成などの面において、ウィン・ウィンの関係構築実現の為に、皆様のご理解とご協力により多くの企業・団体様にご加入頂きましたが、更に幅広い企業・団体様のご協力を賜りたく、引き続きご入会の案内を続けております。

つきましては、当協会設立の趣旨をご理解頂き、何卒当協会へのご入会を賜りたく、宜しくご検討の程お願い申し上げます。

日本ミャンマー協会 会員名簿 (入会順)

(2016年9月現在)

| | | |
|------------------------|----------------------------|--|
| 1 丸紅(株) | 52 (株)高島屋 | 102 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株) |
| 2 三菱商事(株) | 53 ヨシモトホールディングス(株) | 103 (株)NTTドコモ |
| 3 日本113(株) | 54 日本水産(株) | 104 住友ベークライト(株) |
| 4 (株)日立製作所 | 55 大阪サニタリー(株) | 105 住友重機械工業(株) |
| 5 (株)オリエンタルコンサルタンツグループ | 56 比呂・大野・常松法律事務所 | 106 住友林業(株) |
| 6 電通(株) | 57 (株)シービーエス | 107 一般財団法人国際臨海開発研究センター |
| 7 (株)日立建設コンサル | 58 スズキ(株) | 108 (株)アジア戦略アドバイザー |
| 8 太陽生命保険(株) | 59 (株)東芝 | 109 (株)徳岡設計 |
| 9 小西安(株) | 60 日本通運(株) | 110 社)日本理立液漢協会 |
| 10 (株)大塚製薬工場 | 61 (株)日本取引所グループ | 111 双月(株) |
| 11 大成建設(株) | 62 新日鐵住金(株) | 112 富士通(株) |
| 12 (株)IHI | 63 内外トランスライン(株) | 113 若菜建設(株) |
| 13 住友商事(株) | 64 セコム(株) | 114 大阪ガス(株) |
| 14 三井物産(株) | 65 三菱UFJリース(株) | 115 ヤマダ(株) |
| 15 (株)三菱東京UFJ銀行 | 66 出光興産(株) | 116 (株)ホセナル |
| 16 住友信託銀行(株) | 67 豊田通商(株) | 117 長田広告(株) |
| 17 全日本空輸(株) | 68 (株)明治生命 | 118 高尾石油(株) |
| 18 (株)ライフコーポレーション | 69 イースタン・カーライナー(株) | 119 三井住友建設(株) |
| 19 浦信興産(株) | 70 有限責任あずさ監査法人 | 120 三井住友海上火災保険(株) |
| 20 (株)ローソン | 71 (株)IHIインフラシステム | 121 五洋建設(株) |
| 21 POSCO JAPAN(株) | 72 IHI | 122 (株)ミライト・テクノロジー |
| 22 イオングループ | 73 (株)リオ | 123 東洋ビジネスエンジニアリング(株) |
| 23 (株)武蔵野製菓 | 74 IHI 遊機機械(株) | 124 ヤンゴンインターナショナルホテルジャパン |
| 24 三菱自動車工業(株) | 75 (株)みずほ銀行 | 125 (株)玉川産計 |
| 25 (株)メタルワン | 76 大和リビング(株) | 126 (株)アジタ |
| 26 アジア航測(株) | 77 鈴鹿コーポレーション(株) | 127 JFE商事(株) |
| 27 (株)安藤・岡 | 78 アムス・インターナショナル(株) | 128 スターツコーポレーション(株) |
| 28 (株)日本ミャンマー文化経済友好協会 | 79 キンホールディングス(株) | 129 綜合労働保険(株) |
| 29 イセ食品(株) | 80 Dヘルスケアグループ(デンタルサポート(株)) | 130 キグナス石油(株) |
| 30 公孫建物(株) | 81 神前商事(株) | 131 アセアン人材育成事業協同組合 |
| 31 JFEスチール(株) | 82 (株)JTBコーポレートセールス | 132 真藤急便(株) |
| 32 日本電気(株) | 83 (株)JTBコーポレートセールス | 133 イチビキ(株) |
| 33 伊藤忠丸紅製菓(株) | 84 ビッグサム(株) | 134 (株)ヤクルト本社 |
| 34 日本経済放送(株) | 85 KDDI(株) | 135 川崎汽船(株) |
| 35 三菱重工業(株) | 86 (株)ARDジャパン | 136 (株)フジワック |
| 36 JX石川(株) | 87 愛知電機(株) | 137 (株)Next Creation |
| 37 伊藤忠商事(株) | 88 (株)アジトランスコーポレーション | 138 Rajah & Tann Singapore LLP |
| 38 伊藤忠商事(株)日本興亜(株) | 89 ロート製薬(株) | 139 Myanmar Japan Thilawa Development Ltd. |
| 39 (株)三井住友銀行 | 90 (株)建設技術研究所 | 140 Myanmar Japan Co., Ltd. |
| 40 東海海上火災自動車 | 91 日清自動車(株) | 141 新潟トランス(株) |
| 41 (公事)世界子ども財団 | 92 スパークス・アセット・マネジメント(株) | 142 八千代エン지니어リング(株) |
| 42 いすゞ自動車(株) | 93 弁護士法人アジャ総合法律事務所 | 143 (有)ベストライン |
| 43 TM1総合法律事務所 | 94 (株)アジャリール・ガリサーチ | 144 阪和興業(株) |
| 44 三菱マテリアル(株) | 95 アンドファイナンス | 145 (株)ザイマックス |
| 45 中部電力(株) | 96 日揮(株) | 146 (株)上組 |
| 46 森・宮田松本法律事務所 | 97 住友化学(株) | 147 (株)イケダ |
| 47 JXエネルギー(株) | 98 (株)人気社 | 148 ジェー・オー・ビー協同組合 |
| 48 日本ハム(株) | 99 住友大塚セメント(株) | 149 アジパイルホールディングス(株) |
| 49 三菱電機(株) | 100 社)本郷理理士事務所 | 150 (株)ユアテック |
| 50 (株)大和総研 | 101 (株)フジテレビジョン | 151 (株)コメリ |
| 51 両備ホールディングス(株) | 102 (株)エヌ・ティ・ティ・データ | 152 (株)メケウチ建設 |
| | | 153 (株)MJテクノロジー |

賛助会員

| | | |
|----------------------|------------------|-------------------|
| 1 (株)ジョイテック | 6 旭川産業(株) | 11 (株)KNDコーポレーション |
| 2 エーベックスインターナショナル(株) | 7 丸の内 協同組合 | 12 (株)KMG Thirty |
| 3 ドリームタッチLLC | 8 森羅わくわく(株) | 13 グローバルインベスティメント |
| 4 (株)ベッセルホテル開発 | 9 (株)ラミーコーポレーション | コンサルティング(株) |
| 5 (株)総合心研研究所 | 10 医療社会法人大塚会 | |

日本ミャンマー協会 事業計画

- | | |
|----------------------|--|
| (1) 民間、政府要人との交流 | ● 協会主催ミッションの派遣・ミャンマー側官民ミッションの受入 ● 経済界・政府要人招聘 |
| (2) 情報収集・提供 | ● 協会主催の講演会、セミナーおよび懇談会などの開催 ● 協会機関紙「Myanmar Focus」の配布 ● 協会ホームページ(Webサイト更新) |
| (3) 会員企業へのサービス提供 | ● 会員企業、業界からの各種要望・依頼事項の取り纏め、ミャンマー側への提案 ● 会員企業の同国進出に際してのパートナーなどの紹介 |
| (4) 人材育成への協力 | ● 医療・保健・薬学分野 ● 日商簿記普及等の商業系分野 ● 技能実習生育成会 ● 職業訓練学校等 |
| (5) 調査事業 | ● 職業訓練高の実態調査(JICAからの委託事業) ● 中小企業ビジネスマッチング等、両国間中小企業の実態調査・展望への調査事業 (経済産業省からの委託事業) ● ミャンマー国民の能力向上に資する民主主義教育の普及事業 (外務省からの委託事業) |
| (6) 中小企業交流促進 | ● 交流会マッチングの実施 ● 中小企業ミッションの派遣 |
| (7) ティラワ経済特区(SEZ) 開発 | ● 関係者への情報提供 |



一般社団法人 日本ミャンマー協会

【本部】

所在地：〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-16-5
クレー平河町 501

電話：03-3234-3670

FAX：03-3234-3677

東京メトロ有楽町線「永田町駅」| 出口4 または 2より徒歩約5分
東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」| 出口1より徒歩約10分

【技能実習生部】

所在地：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-6-2
小津本館ビル 7F

電話：03-5652-7101

FAX：03-3662-0299

JR 総武快速・横須賀線「新日本橋駅」| 出口5より徒歩約1分
東京メトロ有楽町線「三越前駅」| 出口A6 または A9より徒歩約5分
東京メトロ日比谷線「小伝馬町駅」| 出口3より徒歩約5分
東京メトロ半蔵門線「三越前駅」| 出口A6より徒歩約10分

メール：jma@japanmyanmar.or.jp

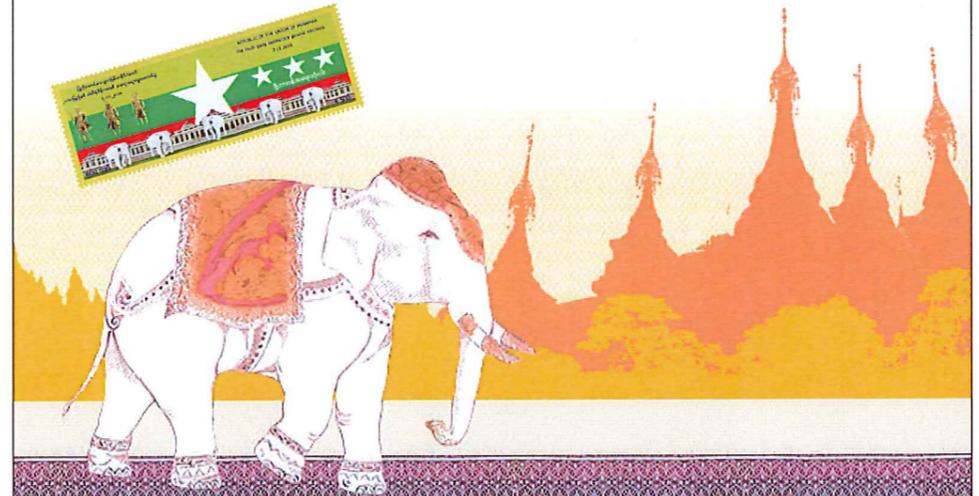
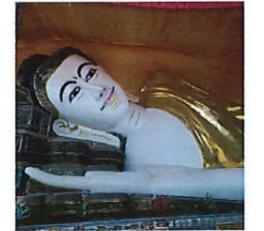
【ヤンゴン事務所】

"Park Royal Hotel"
33 Alan Pya Phaya Road, Dagon Township,
Yangon, Myanmar
Tel: +95 1 250 388 (内線: 8283)

JAPAN MYANMAR ASSOCIATION



一般社団法人
日本ミャンマー協会



<http://www.japanmyanmar.or.jp/>



日本ミャンマー協会会長 ご挨拶

一般社団法人 日本ミャンマー協会
会長 渡邊 秀央



日本とミャンマーとの関係は、戦前、戦中、戦後を通じ、緊密な関係にありました。それは、第一に、ミャンマーの人々の人柄と優しさ、仏教国としての共通の価値観がミャンマーに係わってきた多くの私達日本人に理解され、信頼性を構築し、魅力的な関係が醸成され、自然発生的な親ミャンマー、親日観ができて両国の国民間に定着してきたという事実がその背景にあったからだと思います。

1948年にイギリスから独立したミャンマーは東南アジアの他国に先駆けて、いち早く日本に対して戦後賠償を放棄し、且つ敗戦後の食糧難に対して食糧支援等を行い、そして平和条約、賠償経済協力協定を結び、戦後日本の復興に尽くしていただきました。以来、日本はミャンマーに対する支援を続けてまいりましたが、1988年に大規模デモから内乱が拡大し、国内治安安定のためやむをえず軍政になって以来、ミャンマーに対する制裁措置が取られたため、アジア各国中屈指の援助協力関係を続けて来た日本も、援助・協力を事実上停止したと同等の実体となり、その後は、草の根支援などの人道支援に限っての協力で、細々とした友好関係を維持してまいりました。

当時、私は、中曽根内閣の官房副長官として、マウン・マウンカ首相を日本にお招きし、支援のための策定に携わった一人でありました。

以来、中曽根元総理大臣よりも、日本とミャンマーとの関係を大切に両国の信頼と人間関係を構築して行くのは「若い君の役割である」とのご指導のお言葉と励ましのもと、微力を尽くして努力いたして参りましたが、事実上の両国の正常な外交関係とは言えない体制の中で思うに任せず、忸怩たる思いで歳月が過ぎた次第であります。

しかし、その間ヤンゴン空港の改修、パルーチャン水力発電所の送電線設備の補修、JICA病院の医療機器の修復、B型肝炎対策での献血車の提供等のできるだけの小さな努力は続けて参りました。この間に東シャン州の看護士病院の建設による不足医療機器の提供のためにチャイントンを訪れた私を空港に出迎えてくれたのが、シャン州軍管区司令官のテイン・セイン中将でありました。二人の友情と信頼のスタートでした。

その後、2008年には、その年の4月のサイクロン・ナルギスで有史以来の多大な被害を受けたミャンマーにお見舞いを申し上げるため訪問し、首相に就任されていたテイン・セイン氏と面談した折に、あらためて私から5月に新憲法の是非を問う国民投票が実施されたことに敬意を表しましたが、その時、私はミャンマー国内において民主化に向けたプロセスが確実に進行しているとの確信を得るに至りました。

以来、たびたびのミャンマー訪問で、この20数年の空白を埋めるべく、日本の協力支援について、テイン・セイン首相(当時)をはじめ当時の政府首脳の方々と話し合いを続けてまいりました。

私は、このような交流を通じての信頼関係の構築に努め、今さらの感ではあります。が、ミャンマーの国民をはじめ政府に携わっている人達の、ミャンマーから日本への信頼と日本からミャンマーへの期待を大きく熱く感じつつ、今後将来の我が国にとってもミャンマー国との関係は、一層重要であることも痛感致してきたところであります。

そして、2011年、民主的な総選挙を経て、新政権となり国内体制は政党政治として第一歩を踏み出しました。政治犯の釈放、大統領とアウン・サン・スーチー氏との対話でみられる如く国民和解が実現に向かい、少数民族との和解も確立しつつあります。更に海外に門戸を開き、日本とも2011年11月ジャカルタにおいて野田首相とテイン・セイン大統領の首脳同士の対話が初めて行われ、2012年4月にはテイン・セイン大統領の訪日実現し、2013年1月には麻生副総理、2013年5月には安倍総理のミャンマー訪問が行われ、2013年12月にはテイン・セイン大統領の2度目の訪日が行われ、まさに新生ミャンマーとして、日本との友好関係が実証的に、着実に前進してきています。それ以来、政府間の折衝、民間企業の訪緬が続き、より深い交流が活発になってきているところです。

日本政府は、ODAの再開、ミャンマー経済の牽引的役割として期待されているヤンゴン近郊のティラワ経済特区の開発への協力を実行するなど、積極的に同国の経済発展に取り組む姿勢を表明して、その実現のために種々なる具体的約束を実行してきております。

かような時期にミャンマーとの窓口として、民間の立場で対応できる一般社団法人「日本ミャンマー協会」を2012年3月に正式発足いたしました。これも皆様との価値観の共有の賜物と心より敬意を表する次第です。

「日本ミャンマー協会」は両国関係の多岐にわたる分野において着実に交流を進展させていくために、民間の投資、貿易の拡大、技術協力・支援など経済発展、加えてウインウインの戦略的関係の構築を実現するために、民間の一組織として、重要な役割を果たしていかねばならないと考えます。

ミャンマーでは2016年3月にNLD新政権が発足しましたが、まさに、未来志向の日本とミャンマーの緊密な信頼関係は21世紀に生存している我々と当協会の責任として発展させていかねばならないと確信します。

徒に私利私欲、権力欲の中からの発想ではなく、真に両国国民の今後100年の大計と将来の為、その絆がアジアの平和と繁栄に欠くことができない要件であることを確実視して、自信と責任を持って、日本とミャンマーのため、引き続き様々な活動に邁進して参ります。また、皆様の共鳴と共感のもと多くの会員の皆様に参加していただく努力をして参りますので、何卒ご指導、ご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本ミャンマー協会 役員名簿

(2016年9月現在)

| | | |
|-----------|--|----------------------------|
| 名誉会長 | 中曽根 康弘 | (元内閣総理大臣) |
| 最高顧問 | 麻生 太郎 | (内閣副総理・財務大臣、元内閣総理大臣、衆議院議員) |
| 相談役 | 清水 信次 | (㈱ライフコーポレーション代表取締役会長兼 CEO) |
| 会長・理事長 | 渡邊 秀央 | (元内閣官房副長官、元郵政大臣) |
| 副会長・理事長代行 | 仙谷 由人 | (元衆議院議員、元官房長官) |
| 副会長 | 佐々木 幹夫 | (三菱商事㈱、特別顧問) |
| 副会長 | 勝保 宣夫 | (丸紅㈱、相談役) |
| 副会長 | 岡 素之 | (住友商事㈱、相談役) |
| 理事長代行 | 古賀 誠 | (元衆議院議員、元運輸大臣) |
| 理事長代行 | 白浜 一良 | (元参議院議員、公明党顧問) |
| | | (以下あいうえお順) |
| 理事 | 荒川 博人 | (元 JICA 理事) |
| 理事 | 岩崎 茂 | (前防衛省統合幕僚長) |
| 理事 | 魚住 祐一郎 | (参議院議員、公明党参議院会長) |
| 理事 | 江利川 毅 | (元人事院総裁、元厚生労働省事務次官) |
| 理事 | 小笠原 倫明 | (元総務省事務次官) |
| 理事 | 桐生 稔 | (前大阪産業大学経済学部教授) |
| 理事 | 篠沢 恭助 | (元大蔵省事務次官) |
| 理事 | 鈴木 正誠 | (元 NTT コミュニケーションズ社長) |
| 理事 | 田島 高志 | (元ミャンマー大使) |
| 理事 | 田中 慶秋 | (元衆議院議員) |
| 理事 | 田邊 栄一 | (三菱商事㈱、代表取締役副社長) |
| 理事 | 田淵 正朗 | (住友商事㈱、代表取締役常務執行役員) |
| 理事 | 浜田 靖一 | (衆議院議員、元防衛大臣) |
| 理事 | 林 直樹 | (イオン㈱、相談役) |
| 理事 | 福山 哲郎 | (参議院議員、民進党幹事長代理、元内閣官房副長官) |
| 理事 | 洞 駿 | (ANA ホールディングス㈱、常勤顧問) |
| 理事 | 宮澤 保夫 | (公益財団法人世界こども財団会長) |
| 理事 | 山添 茂 | (丸紅㈱、代表取締役副社長執行役員) |
| 理事 | 渡辺 修 | (元通商産業省事務次官、元 JETRO 理事長) |
| 常務理事・事務総長 | 渡邊 祐介 | (日本ミャンマー協会) |
| 監事 | 鈴木 敏明 | (元小西安㈱、常務取締役) |
| 監事 | 松平 浩一 | (弁護士) |
| 顧問 | 津守 滋 | (元ミャンマー大使) |
| 顧問 | 山口 洋一 | (元ミャンマー大使) |
| 顧問 | 齊藤 隆志 | (元ミャンマー大使) |
| 【事務局(常勤)】 | | |
| 東京事務所 | 渡邊祐介、石原義弘、小松正伸、大場篤典、 工藤登一、神野千恵、松本収、宮野弘之、 吉田鈴香、桜井敏一、笹川麻里子 | |
| ヤンゴン事務所 | テッセイン | |